

モニタリング結果報告書

施設 汐見台病院
指定管理者 公益社団法人神奈川県医師会
施設所管課 病院事業課

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

<判定理由>

より多くの患者を受け入れられるよう地域医療機関との連携に力を入れた結果、入院患者数が前年度比約3%の増となり、収支状況も改善したことから、B判定とした。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	H23. 11. 18	H23. 11. 25	○	○	○	なし	
11月	H23. 12. 21	H23. 12. 26	○	○	○	なし	
12月	H24. 1. 20	H24. 1. 27	○	○	○	なし	
1月	H24. 2. 20	H24. 2. 27	○	○	○	なし	
2月	H24. 3. 19	H24. 3. 26	○	○	○	なし	
3月	H24. 4. 19	H24. 4. 26	○	○	○	なし	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載してください。

<提案内容の概要>

① 救急医療

自主救急体制の実施、横浜市救急病院輪番体制及び二次救急病院輪番体制への参加

② 開放型医療

患者紹介、共同診療、検査受託等の地域医療機関との連携

③ 腎疾患専門医療

腎不全の治療、腎移植患者の管理、月～土曜日まで1日2サイクルの外来透析治療の実施

- ④ 医療従事者の教育
看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士等を目指す臨床実習生の受入
- ⑤ 産科医療
月 72 件の分娩を受けられる体制の確保
- ⑥ 臨床研修医の受入
毎年 2 名の臨床研修医の受入

<実施状況>

- ① 救急医療
救急患者数 H23 下半期合計 1, 483 名
- ③ 開放型医療
H23 下半期 患者紹介率 35.5%、逆紹介率 16.8%
共同診療 延 40 件、検査受託 570 件
- ③ 腎疾患専門医療
人工透析 H23 下半期 入院延患者数 481 名、外来延患者数 3, 383 名
- ④ 医療従事者の教育
H23 下半期実習生受入状況 実人数 365 名
(内訳) 看護師 340 名、薬剤師 5 名、栄養士 10 名、理学療法 7 名
- ⑤ 産科医療
H23 下半期 分娩実施件数 364 件
- ⑥ 臨床研修医の受入
H24 年 3 月末時点 3 名

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額	
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入			
年間予算額 今期	4,869,382	765,075	4,101,007	3,300	4,869,382	0	
(前期)	4,784,051	767,956	4,012,795	3,300	4,784,051	0	
下 半 期 実 績 額	10月	340,502	11,908	328,585	9	407,013	△ 66,511
	11月	339,766	9,892	329,874	0	260,483	79,283
	12月	322,661	9,755	312,832	74	467,734	△ 145,073
	1月	338,847	9,601	329,246	0	363,073	△ 24,226
	2月	307,728	9,813	296,873	1,042	310,686	△ 2,958
	3月	957,099	16,996	927,947	12,156	1,013,164	△ 56,065
	合計	2,606,603	67,965	2,525,357	13,281	2,822,153	△ 215,550
前年度同期計	2,561,216	84,768	2,471,978	4,470	2,999,117	△ 437,901	

- 1 指定管理者の収入を記載してください（県の収入である「使用料」は含みません。）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載してください。

収支状況に関する意見等

- ① 年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載してください。
- ② 今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載してください。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載してください。
- ③ 今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比 30%以上プラス又はマイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載してください。

<意見等>

入院患者が増加したことにより、収入額が前年度比で約5千万円増となった。

なお、利用料金収入の3月の額が特に多いのは、3月に実際に現金収納された額に加え、2月及び3月診療の診療報酬の保険負担分（翌々月に振り込まれる）を未収金として3月に計上したためである。

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

基本協定書において、施設の資産価値を増進する改修工事等については、県が支出すると定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した工事費等についても参考に記載している。

- 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載してください。
- 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載してください。
- 修繕等の一覧がある場合は、参考にご提供くださるようお願いいたします。

	金額	工事箇所・内容
上半期	—	—
下半期	13,600,650 円	2 東病棟空調設備改修工事
	3,622,500 円	本館ボイラ設備改修工事
総額	17,223,150 円	

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	
支出の状況	なし	
積立等の状況	借入金（オーダーリングシステム）	(期首) 252,018
		(期末) 224,016
	退職金積立	(期首) 49,926
		(期末) 39,990

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載してください。
- 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載してください。
- 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載してください。

5 利用状況

	患者数(人)			前年同月患者数(人)			対前年比増減率(%)		
	外来	入院	救急	外来	入院	救急	外来	入院	救急
10月	12,948	5,175	232	12,780	4,964	225	1.3	4.3	3.1
11月	13,290	5,068	212	13,238	5,072	245	0.4	△ 0.1	△ 13.5
12月	12,987	5,203	311	12,648	4,905	292	2.7	6.1	6.5
1月	12,223	5,079	302	12,538	4,766	300	△ 2.5	6.6	0.7
2月	12,267	4,676	234	12,089	4,393	222	1.5	6.4	5.4
3月	13,316	4,768	192	13,684	4,958	210	△ 2.7	△ 3.8	△ 8.6
合計	77,031	29,969	1,483	76,977	29,058	1,494	0.1	3.1	△ 0.7

		目標患者数 (人)	実績患者数 (人)	前年同期 患者数(人)	目標対比 増減率(%)	前年対比 増減率(%)
今年度 上半期計	外来	76,789	75,433	75,529	△ 1.8	△ 0.1
	入院	32,940	30,220	29,809	△ 8.3	1.4
	救急	—	1,455	1,561	—	△ 6.8
今年度 下半期計	外来	76,789	77,031	76,977	0.3	0.1
	入院	32,940	29,969	29,058	△ 9.0	3.1
	救急	—	1,483	1,494	—	△ 0.7

利用状況に関する意見等

- ① 今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載してください(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載してください)。
- ② 目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載してください。
なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ませんが、次回以降は記入してください。

<意見等>

- ② 入院患者数は病床利用率80%で目標患者数を設定しているが、ここ数年の実績は70%台前半で推移しており、目標設定を再検討する必要があると考えられる。

下半期は、より多くの患者を受け入れられるよう、磯子区ほか4区の医師会と連絡協議会を開催するなど、地域医療機関との連携に力を入れた結果、入院患者数について、目標には達していないが、前年度比で約3%増となった。

6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

下半期報告	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
合計	7	0	5	0	0	12

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載してください。

なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出してください。

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

（ 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載してください。 ）

⇒該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

（ 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載してください。 ）

指定管理者	<p>産科医療については、震災の影響からか産み控えが見られ、下期の分娩予約件数は、予定の72件に達した月がひと月もなく、結果的に下期合計で364件にとどまり、予約取消しも8件あったが、この現象は一時的なもので、大きく危機感を持つほどではないと思われる。</p> <p>このほか、より多くの医療機関に当院を利用して頂くために、科を問わず近隣の医療機関へ赴き、患者受入れの拡充に取り組んだ。</p> <p>また、健診や予防接種などの受入れ拡充を視野に入れ、該当診療科や関係部署との調整検討を行っている。</p>
施設所管課	<p>横浜市磯子地域の中核的病院として、地域医療機関との連携をより一層強化するため、磯子区など近隣4区の医師会との連絡会の開催や近隣医療機関や学校への訪問などに取り組んだ結果、入院・外来患者とも前年度同期と比較して増加した。</p> <p>産科医療については、分娩実施件数は前年度に比べて減少したが、これは一時的な減少と見られ、分娩を実施する医療機関が少ない中では、県として、当面はこれまでと同規模の分娩が実施できる体制を確保していくことが必要であると考えている。</p>